

(2026年9月14日発表)

9月16日 防災・減災教育事業の推進に関する協定締結式の開催 (静岡市、静岡市教育委員会、株式会社ピーエーシー、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社ペガサス)

【市長の出席 有】

静岡市、静岡市教育委員会、株式会社ピーエーシー、東京海上日動火災保険株式会社及び株式会社ペガサスは、中学生を対象とした防災・減災教育を推進するため、「防災・減災教育事業の推進に関する協定」を締結します。

【趣旨・背景】

- ・今回、協定を締結する5者は、防災・減災教育の推進に賛同する企業の協力を得ながら、中学生を対象とした防災・減災教育を推進します。
- ・本事業では、市立中学校で活用する防災・減災教材等を作成・提供し、生徒が防災を自分ごととして捉え、家庭や地域における防災・減災の実践につなげます。

【協定締結式】

日時:2026年9月16日(水曜日) 13時10分～13時30分

場所:静岡市役所静岡庁舎新館8階 市長公室

署名人:株式会社ピーエーシー 代表取締役 柴山 貴伸(しばやま たかのぶ)

東京海上日動火災保険株式会社 理事静岡支店長 東 秀明(あずま ひであき)

株式会社ペガサス 代表取締役 吉川 元宏(よしかわ もとひろ)

静岡市長 難波 喬司

静岡市教育委員会 教育長 中村百見

【協定における主な連携項目】

1. 中学生を対象とした防災・減災教育の充実
2. 防災・減災に関する教材・コンテンツの作成及び提供
3. 協賛企業の募集

【事業概要】(詳細別紙)

- ・5者は、防災・減災教育の推進に賛同する企業を募り、協賛を得るとともにその取組や知見も活かしながら市立中学校の生徒が防災・減災を学ぶための教材と教員向け資料を作成し、学校へ提供します。
- ・生徒は、「しずおか学」などの探究的な学びを土台に、防災・減災の知識、日頃の備え、災害時の行動を学び、実践する力を身に付けます。
- ・また、地域や企業などの防災活動を理解することで、「自分の防災」から「地域・社会の防災」へと視野を広げ、地域の防災活動に参加する意識が高まります。

【取材について】

事前の連絡は不要です。当日、会場までお越しください。

【問い合わせ先】

危機管理局 危機管理課 (静岡庁舎3階)、担当:保坂・大塚 電話:054-221-1241

教育局 児童生徒支援課 (清水庁舎8階)、担当:児玉・生田 電話:054-354-2518

防災・減災教育事業の概要

<事業目的>

本事業は、中学生が防災を自分ごととして捉え、災害への適切な備えや行動を考えて実践する力と、地域社会の一員として防災に関わる力を育むことを目的とする。

●「知る」から「備える・行動する」へ

防災の知識を、自分や家族の日頃の備えや災害時の行動につなげる。

●「自分の防災」から「地域・社会の防災」へ

地域や企業など社会の様々な主体の防災の取組を知り、地域社会の一員として防災に関わる。

●「自助」から「共助」へ

将来の地域防災を担う世代として、「自助」に加え、「共助」につながる力を育む。

<事業開始> 2027年4月～

<事業内容>

① 防災・減災教材等の作成・提供

市立中学校の生徒向け教材及び教員向け資料を作成・提供し、学校での防災教育を支援する。

②「しずおか学」を土台とした防災・減災の学び

「しずおか学」などの探究的な学びを土台に、防災・減災に関する知識や、自分や家族の備え、災害時の行動を考え、実践につなげる。

② 社会全体で支える防災教育

防災・減災教育の推進に賛同する企業を広く募り、その取組や知見を教材に取り入れることで、学校での学びを家庭や地域につなげる。

【作成する教材】

防災アニメーション:「地震編」「風水害編」「避難所編」の3話構成のアニメーション

防災ガイド:「地震」「風水害」「自助・共助・公助」の3つのテーマ

オリジナル防災BOX:自分で組み立てる手軽な備蓄ボックス

➡教材は、各教科や総合的な学習の時間、学級活動など、様々な学習の場面で活用する。

<事業スキーム>

